

# 中津川市地域医療実習 感想文

鹿児島大学 3年生 氏名 藤井崇平

本実習を通じた感想として、まず頭に浮かぶのは「本当に参加してよかった」ということです。大学の講義で地域医療という言葉を目にするのが幾度となくありましたが、実際に誰がどの様に地域を巻き込んで、何をやっているのか、具体的なイメージを持っていませんでした。そんな中、友人経由で中津川地域医療実習を知りました。将来の進路を選択するにあたり、地域医療の実際を知ることは必要不可欠だと考えていた私にとって、本実習はまたとない機会だと感じました。4泊5日で診療所や発達支援センター、老人ホームなど地域医療を担う施設にお伺いし、「活きた」医療・介護・福祉を学ぶことができます。非常に濃厚な実習に魅力を感じ、迷わず応募させて頂きました。

本実習では様々な施設の方がご自身の時間を惜しむことなく、お仕事内容やマインド、理想の地域医療像を丁寧にお話し頂きました。中でも阿木診療所の伴信太郎先生の医療に対する姿勢は印象的でした。総合診療と医学教育の両輪でお仕事をされており、地方、都市部問わず柔軟に働かれている姿をみて、私は新たな視界が開けた気がしました。地方、都市部の技術的な医療格差や医師の偏在が課題として謳われている昨今、伴先生の働き方はその解決の糸口になると思います。医師の流動性を体現したお姿は私の目に焼き付けられました。

また、阿木地区にある特別養護老人ホーム「シクラメン」で志水さんより地域包括ケアのお話をお聞きし、取り組みの実際を知ることができました。医療・福祉・介護の一体化が標榜されている中で、「ごちゃまぜ会議」など多職種連携を促進する機会を積極的に創出されており、新たな気付きとなりました。一方で、より良い体制構築のための課題も散見され、その解決のために尽力されている姿をみて、私自身も知識と経験を積んで地域医療に貢献したいと決意を新たにしました。そのためにも、今から実習や本などで積極的に学んでいこう。そう強く考える契機となりました。

中津川市そのものを満喫できたのも本実習の魅力だと思います。歴史に育まれた文化が根付いており、中山道と宿場町の風情を色濃く感じることができました。私が宿泊した「やなぎ屋」は岩村城下町にあり、枳形や町の中を流れる疎水など、類をみない特徴が非常に印象的でした。気さくな女将さんとのお話も楽しく、思い出の1ページです。グルメも豊富で、栗きんとんや五平餅、地酒などに舌鼓を打ちました。特に「恵那どり」は絶品でした。また必ず食べに行きたいと思います。

最後に、非常に学び多き5日間をご提供頂き本当にありがとうございました。本実習を通して、地域医療の実際を学ぶことができ、私の実習の目標である「地域医療を友人に説明できるようになる」を達成することができました。またご縁があればぜひ中津川の地域医療を学ばせて頂きたいと存じます。阿木診療所の伴信太郎先生、山田先生、地域包括支援センターの志水さん、そして、送迎や質問対応、地域観光など身の回りを手厚くサポートして頂いた地域総合医療センターの鈴木さん、内木さん、早川さんをはじめ、関わらせて頂いたスタッフの皆さまに深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。